

第3回岡谷市基本構想審議会

会 議 録

(出席者)

○委員(15人)

鮎沢春雄委員、和泉ふみ子委員、伊藤 覚委員、太田博久委員、小口久一委員、
笠原亥一郎委員、片桐協子委員、小林睦巳委員、高見沢恒子委員、濱 道夫委員、
丸山善行委員、宮坂博明委員、矢島 進委員、山田昌義委員、横内敏子委員
(五十音順)

(説明者)

○担当部課(11人)

市民環境部長 笠原和彦
健康福祉部長 宮澤順
健康推進課長 宮澤昌邦
経済部長 赤沼喜市
商業観光課長 小坂英之、工業振興課長 浜活秀、農林水産課長 小河原義友
岡谷市民病院事務部長 岩垂俊男
庶務課長 小松久志、医事課長 小野信之、新病院建設室長 山岡泰一郎

○事務局(7人)

企画政策部長 小口明則
企画課長 山岸 徹
企画課主幹 岡本典幸
同 白上 淳
同 両角秀孝
同主査 宮坂征憲
同主任 相河美咲

第3回岡谷市基本構想審議会 会議録

平成25年10月1日（火）
午後1時00分～午後3時00分
市役所8階全員協議会室・第5委員会室

1 開会

市民憲章唱和

2 会長あいさつ

横内会長	<p>ご参集いただきありがとうございます。重々しい雰囲気の中、圧倒されておりますが、いよいよ本日の第3回基本構想審議会から、基本計画案の内容について審議を行ってまいります。このあと、それぞれの部会に分かれていただきご審議をいただきますが、限られた時間の中でありますので、前回の勉強会でお聴きした審議の着眼点なども参考にいただきながら、積極的にご意見を出していただき、活発な意見交換ができますようご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>前回の中田副市長さんのお話にもありましたが、第4次岡谷市総合計画後期基本計画が、希望に満ちた、将来に夢を描くことのできる計画となりますよう、幅広い視点から審議を行ってまいりたいと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。</p>
------	---

3 議事

(1) 全体説明

小口副会長	ありがとうございました。会議に先立ちまして、委員15名のうち13名が出席されております。2名の方もこのほどお見えになりますので、本会議が成立することをご報告します。それでは本日の会議に入りたいと思います。横内会長お願いします。
横内会長	それでは早速ですが、はじめに、審議の進め方について事務局より説明をお願いします。
白上主幹	事務局の白上です。本日の審議の進め方につきまして、確認をさせていただきます。このあと、基本目標1及び基本目標2につきまして、担当部長より説明をいたします。引き続き、前回お示しした担当部会に分かれていただき、ご審議をいただきます。基本目標1を担当される委員さんは、第5委員会室へ移動していただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。時間は50分間を目安にお願いいたします。部会審議終了後、こちらの部屋で全体審議をお願いいたします。審議の進め方は以上となりますが、限られた時間での審議となりますのでよろしく願いいたします。
横内会長	それでは、さっそく審議に入ります。はじめに基本目標1「魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち」について、担当部長さんより説明をお願いします。

<p>赤沼経済部長</p>	<p>基本目標1は3つの政策で成り立っています。すべて経済部が担当します。2ページです。政策1 基幹産業の振興の1-1 工業の振興ですが、前期基本計画策定以降、リーマンショックや大震災があり、工業のみならず商業等も含めて大変な時期となりましたが、産業振興の副市長の選任、産業振興戦略室の設置、信大の大学院設置等に取り組んでまいりました。工業活性化計画を5年前に策定しましたが、後期基本計画に併せて新しい工業活性化計画の策定進めております。この中で工業振興を推進していきたいと考えております。4～5ページですが、企業立地の推進については、企業誘致と創業支援を大きな取り組みとしてまいりました。工業の活性化対策については、市内企業の育成に取り組んできました。新技術新製品開発支援の充実に加え、成長産業に関わる情報提供支援を積極的に行っていきます。6ページですが後継者の育成については、子供のころからものづくりに関心を持ってもらう取り組みを進めてまいります。後継者の育成についても取り組んでいきます。政策2の産業の振興の2-1 商業の振興ですが、商業については、大型店や自動車での買い物が主流になるなど商店街が衰退している実情があり、空き店舗が増えてきています。空き店舗の活用について取り組んでまいります。中心市街地の商業の活性化について、イルフプラザ1階の食品館の撤退から1ヶ月で新しい店舗入れることができました。2-2 サービス業の振興について、第3次産業に携わる人口の比率は高くなっており重要と考えております。16ページですが、2-3の観光の振興について、取り組みの弱い部分でありましたが、産業観光フォーラムをきっかけに、岡谷ブランドブックをつくって、まちなか観光をキーワードに推進していきます。20ページですが、2-4の農林漁業の振興ですが、3分の2が山林である岡谷市において、遊休農地の解消、林業、漁業にも積極的に取り組んでおります。農業振興として地産地消の推進を進めてまいります。林業については、災害からも山の整備の必要性を感じております。26ページですが、政策3、勤労者対策の推進、3-1 勤労者福祉の充実について、仕事にやりがいと充実感を持ちながら、家族との時間や地域の生活も合わせて「ワークライフバランス」が大切。支援としては勤労者福祉サービスセンターなど関係機関との連携により取り組みを行ってまいります。30ページ、3-2 雇用対策の充実ですが、若者がもどってきて働く場がない状況です。仕事ができる環境を作っていくことが必要で、説明会、相談会を開催し支援してまいります。社会問題となっているニートやひきこもりの問題にも県等と連携しながら取り組んでいきたいと考えております。以上であります。</p>
<p>宮澤健康福祉部長</p>	<p>基本目標2は市民環境部、岡谷市民病院の関係も併せて説明します。34ページからになります。体系図と併せてご覧ください。政策の4は保健医療の充実で4つの施策から構成されております。まず34ページ、4-1 健康作りの推進で市民が主役・市民参加の健康づくりの推進、一時予防の重視、健康づくりを支援する体制の強化の3つの施策体系となっており、市民がいつまでも住みなれた地域で心身ともに健康で暮らせる健康寿命の延伸をめざし市民や行政が一体となった健康づくりの推進について記載しております。次に4-2、38ページになります。予防対策の推進ですが、各種検診の推進、感染症対策の推進の2つの施策体系となっております。がん予防、感染症予防について記載しており、自らががん予防をしていくという意識の啓発と正しい情報提供、また各種予防接種により疾病の発生と蔓延予防が必要としている。42ページ、4-3 母子保健の充実であります。妊娠・出産に関する安全・安心への支援と子どもの健やかな発達の促</p>

	<p>進と育児不安の軽減、思春期からの保健対策の強化と健康教育の推進の3つの施策体系となっており、子どもを健全に産み、育てていくことを重要な課題とし、子育て支援や女性のライフステージに応じた健康支援に取り組むことが必要としております。46 ページ、4 - 4 になります。医療体制の充実でございますが、地域医療体制の推進、岡谷市病院事業の整備・充実、岡谷市看護専門学校の実の3つの施策体系となっております。救急医療体制や岡谷市民病院の充実等について記載しており、救急医療体制の強化の必要性や、医師や看護師の確保、住民意識のあり方など課題としております。また、新岡谷市民病院は、平成 27 年度の開院を目指して工事を進めているところであります。50 ページ、政策の5子育て支援ですが、5 - 1 として子育て支援の充実を掲げ、地域とともに支える子育ての推進、子育て支援サービスの充実、子どもの育成支援の3つの施策体系となっております。子育てをめぐる課題は多様化、個別化、深刻化する中、市民一人ひとりが子育てを支えていく風土作りを進めていくことが必要としております。政策の6につきましては福祉の充実で、4つの施策から構成されています。54 ページをご覧ください。6 - 1 では地域福祉の推進で、地域福祉の推進、健康福祉と憩いの拠点の充実、相談体制の充実の3つの施策体系となっております。地域サポートセンターなど地域福祉の拠点の充実を図るほか、地域の安全、安心体制の強化の必要性や相談体制の充実等について記載しています。56 ページ、6 - 2 では障害者(児)福祉の推進では、障害者支援の環境づくり、障害者福祉サービスの充実の2つの施策体系となっております。障害者自立支援法の改正により、新たな障害保健福祉施策の対応や障害者の権利と人権を擁護する施策の一層の推進が求められていることなど障害者支援の充実について記載しております。60 ページになります。6 - 3、高齢者福祉の推進について、高齢者の生きがいづくりの推進、介護保険事業の広域運営、要援護高齢者対策の充実の3つの施策体系となっております。高齢者福祉、高齢者の生きがいづくりについて記載をしており、24 時間、365 日対応可能な地域包括ケアシステムを構築していくことが重要としております。最後に 66 ページ、6 - 4 社会保障の円滑な運営ですが、国民健康保険事業、後期高齢者医療事業、福祉医療費の給付、自立支援と最低生活保障の4つの施策体系となっております。それぞれの事業の運営について記載しております。以上であります。</p>
横内会長	<p>ありがとうございました。さっそく部会に分かれて審議をお願いします。2時25分にはこちらの部屋にお戻りください。</p>

(2) 部会審議

①基本目標 1

太田副会長	私の方で進行させていただきます。時間が限られておりますが、積極的な審議をお願いします。基本目標 1 の「魅力と活力にあふれる、賑わいのあるまち」ということであります。まず、経済部長からご説明をお聞きしましたが、全体をと通してご質問等ございますか。
H 委員	ここから高校、大学に行くために出て行って、卒業して戻ってくる、あるいはとどまる率というのはどの位あるか。
浜工業振興課長	およそ 6 割が戻ってくる。ただし、岡谷市に戻るというのではなく、県全体のデータとして県内に戻ってくる割合となる。
D 委員	岡谷市独自のデータは無いのか。
浜工業振興課長	ございません。
小口企画政策部長	人口動態の年齢別のデータあるので資料としてお配りするが、実際には具体的な把握は難しい。
太田副会長	他にございますか。では、政策ごとに審議していく。はじめに政策 1 の基幹産業の振興、1 - 1 の工業の振興について検討していくが、基本目標 2 の委員さんからのご質問等についてご紹介する。 【K 委員】 <ul style="list-style-type: none">・商業・産業を含むが近年の販促活動は、インターネットを介してのアピールが大変有効である。・市内の商業・製造業者のホームページ開設率、ホームページの内容が不十分に思える。・市内外にアピールし顧客の獲得をする上では、今後官が積極的に関与していったらどうか。 【O 委員】 <ul style="list-style-type: none">・「前期基本目標 1」の中で要望として出され実行して来たと思いますが、結果としてあまり思わしくないと思います。・後期においては、早期に具体的な計画を立てて実施していく必要があると思うが、具体性が見えない。
太田副会長	それではみなさんの方から何かご意見等ございますか。宮坂委員。
L 委員	資料のグラフを見ると、3 ページですが、12 年から 22 年の間に約 200 社の企業が減っているように思われるが、倒産廃業のほかに市外に流出した企業があるのではないかと思うが、企業流出に対する対策は行っているのか。
赤沼経済部長	市では、企業立地について力を入れている。データは 4 人以上の企業で、この倍くらいの 3 人以下の企業がある。いずれにしても製造業では小さい会社がどんどん減っていて、一時に比べ 4 割くらいになってしまっている。岡谷市も同様で、昭和の終わりころに比べると 6 割くらいになっている。後継者をどうするか、一方では流出を防ぐために補助金を出したり、空き工場に入ってもらったりという支援をしている。

N委員	私も精密業であるが、事業所数は今後も確実に減っていくと思う。倒産よりも後継者がいない場合が多い。岡谷のメリットは集積地で協力体制がとれることであると思うが、このままでは、技術もなくなっていってしまう。技術を引き継いでいくことが大切で何か対策がとれないものか。
浜工業振興課長	後継者がいない場合、どのように会社を引き継いでいくか考えていかなければならない。M&Aという手法もあり、会社、技術を売り込んでいくことも考えられる。工業活性化計画の中には明確に盛り込んでいく必要があると考えている。
B委員	養命酒の跡地について、売却は済んでしまっているか。
赤沼経済部長	来年3月に造成工事が終了し、それから分譲していく予定である。
B委員	市で使っていく予定は無いか。例えば、分散しているいろいろな業種、技術を集めて工場アパートみたいなものを検討する予定は無いか。岡谷には部品製造はあるが完成品を作る会社少ないような気がするが。
赤沼経済部長	養命酒の土地は土地開発公社で取得しているもので、基本的には売却していく予定。現在は市営の工場アパートのような予定は無い。ただ、大田区などでは区が工場アパートを運営している先進例もある。研究課題として勉強していく必要がある。産業の集積があるので、ネットワーク組んでできるかは大きな課題。参考とさせていただく。
H委員	プレス、切削など下請けの企業が多い。これからは健康医療、環境エネルギーのメッカとなる地域にしていく必要がある。この部分の支援が大切ではないか。
赤沼経済部長	5ページにH委員さんの言われた部分記載している。取り組みを進めて行きたい。
M委員	岡谷市では新規の事業や外から来る企業には支援しているが、地元でがんばっていて将来性のある企業への支援が少ないと聞いている。そうした企業を育てることで周辺の企業も伸びていくと思うがどうか。
浜工業振興課長	たしかに誘致については力を入れている部分。企業誘致を推進しながら、新しい分野に進出する企業に支援することは財政的にも厳しいものがある。国の方で積極的に支援しているので、そちらを利用してもらうようにしている。また、新技術新製品チャレンジ補助金により支援を行っている。今後も支援を行って行きたい。
M委員	最近の企業誘致の成功例について教えて欲しい。
赤沼経済部長	家賃補助で3件が空き工場に入った。市内の企業についても、会社の拡張や工場の新設についても支援を行っている。
D委員	企業側にとって「なんで岡谷に来なければならないか」という岡谷に来る価値を作り出していかなければならないと思う。イメージとして高い技術

	<p>を持った企業が多く、元請企業とつながっていて、その意向によって仕事が増えたり減ったりしている印象がある。最終的には技術と技術をつなげるコーディネートをしていくことで、ここで独自の製品を作っていくことが理想で、そこに外の企業を誘致していくチャンスがあるのではないかとと思うが。補助金ではなく岡谷に来る必然性を出せるような方向性が大切ではないか。</p>
<p>赤沼経済部長</p>	<p>おっしゃるとおりで、そうしたことで岡谷の強みを出していけると思うので、研究課題として施策につなげていければと思う。</p>
<p>小林委員</p>	<p>営業能力というものが弱いのだと思う。そのコーディネートを支援していただければ。スマートデバイスという意味が分かりづらい。</p>
<p>浜工業振興課長</p>	<p>スマートデバイスの供給基地というのは、第4次岡谷市総合計画から使い始めたもので、超精密加工技術を極めていくというシンボリックな言葉として使っている。工業活性化計画の中で明確にしていく。</p>
<p>太田副会長</p>	<p>大変申し訳ございませんが、次の項目もありますので、後の全体会議か、意見質問連絡票に記入していただいております。では、次の項目に移らせていただきます。8ページ、政策2産業の振興の中の2-1商業の振興、2-2サービス業の振興、2-3観光の振興、2-4農林漁業の振興の4つについて審議します。はじめに、基本目標2の委員さんからのご意見等について紹介します。</p> <p>【O委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イルフプラザやイルフ童画館通りの活性化には力を入れるようだが、中央通り4～7丁目及び他の商店街の活性化についてはうたわていない。市としての考え方は。 ・現状を考える時、今後商業者(個店)がふえるとは考えられない。地域の個店が減少した場合の買い物難民をどうフォローするのか見えない。 <p>【K委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化にあっては一体性、回遊性のある商業地化はとても重要に思える。駅前→中央通りまでのアーケード化等、思い切った政策を期待したい。 ・観光にあっては大切なことは岡谷市にお金を落としてもらうのが重要であり、何かのために来てもらいお金を落としてもらうという発想よりは、ちょこっと寄ってもらう程度の発想の方がいいように思える。案を出すとするれば、市内には大変よい土産品、農産物、工芸品等あるがそれをアピールする場がないため、道の駅のようなものを作ったら良いのではないだろうか。そこに岡谷市のあらゆる土産品、農産物、工芸品を集めそこで岡谷市を知ってもらう。それも適当な場所に作るのではなく、諏訪湖沿いでガラスの里に極力近いところにある。観光客が諏訪湖やガラスの里に来た時に近くに道の駅があれば、気軽に寄れる気がするし、夏場では花火も見られる。 ・湊の諏訪湖周辺を美化、整備化をはかり観光が出来る雰囲気作りが必要に思える。 ・観光は有るものを最大限に生かし、付近に使える物があれば最大限に利用することが大切と思う。特に、諏訪湖や山。やまびこ公園のテコ入れも必要な気がする。

	<p>・P21 の総農家数・経営耕地別面積の推移で樹園地が H17 の 321 から H24 の 330 と増加しているが要因は何か。</p> <p>【J 委員】</p> <p>・岡谷の観光にはエクスカージョンの活用が不可欠だと思います。製糸に関する近代化産業遺産群にしても、これからオープンする蚕糸博物館にしても、輝かしい歴史を背景に他にはない岡谷の所有する特徴ある財産として、これを十分に生かし、観光として、体験型見学会を意識して、案内人の育成を進める。その場所で観光客といっしょになって岡谷市民も何かをしている、参加をしているということを大切に、ただそこに建物があるというのではなく、そこに人がいるということが大切だと思いますコミュニティカこそが、遠くからも人を引きつける力があるのではないかと思います。</p>
<p>B 委員</p>	<p>美術考古館について、商店街の空き店舗を利用するか、新しく建てるか、できる前に議論され、賛否両論あったと思うが、商店街の賑わいのためにあそこに建てたという不信感もある。イルフには力いているが美術考古館というのが商店街に同化して岡谷展、諏訪展等の展覧会もできない施設になっている。展覧会をどうするかといったら、イルフを利用してもらいたいという状況になっている。最低の岡谷展位はあそこ（新美術考古館）でやりたいが、問い合わせたら場所が狭いので岡谷展は絵画と彫刻と 2 回に分けてやることになるということだった。とってつけたような美術館となってしまうことはいなめない。新美術館建設のための基金に、ずいぶん長い間、美術会等で寄附していたと思う。どの位の金額か知りたい。とりあえず展覧会はどのようにできるのか。中心市街地の活性化の方が大切か。</p>
<p>小口企画政策部長</p>	<p>美術考古館については、教育のところでお話できると思うが、疑問については教育に話をするが、大きい部分で言うと、まちなかの活性化というなかでは、美術考古館は単に郷土の芸術文化の発信機能の重要性もあるが、人が集まるというなかで、イルフ童画館もカルチャーセンターもあり、文化とまちなかの賑わいという部分も結びつけていくこともまちづくりのひとつの方法である。そのような大きな組み立てのなかで、旧店舗の寄附を受け、土地を取得し、美術考古館を配置した。まちなかの賑わい創出という視点での配置であるのでご理解いただきたい。細かい部分については教育の部分でお願いしたい。</p>
<p>L 委員</p>	<p>アピタの建て替えの話があると聞いている。大規模な商業活動域の変化があると思われるが、これにより空き店舗数が増えるのではないかと、中央通の商店、銀座、東銀座の商店街が影響受けるのではないかと、大規模商業施設と既存商店街の業種的な住み分けなど中心市街地再編などの計画はあるか。</p>
<p>小坂商業観光課長</p>	<p>計画上の中心市街地は駅周辺から、市役所、アピタ、銀座の一部を含めた広い範囲となっている。大規模店舗と地元個店、商業会がうまくバランスをとりながら共存していく形が望ましい。大規模スーパーの出店やアピタの建て替えのという話の中では、相当数のテナントの動向がある。空いている店舗、活用できそうな店舗をマッチングしたり、誘導したり、そういうことがこれからの課題。それからエリアの中での特色の話であるが、童画館通りは一定の整備がされ若者向けの商店街という方もいる。一方、中</p>

	<p>央通りはお年寄りが安心して買い物ができる商店街にできないかという意見もある。具体的に決まったものはないが、岡谷の中心市街地として広いエリアで考えるとそういうことも重要であると考えている。空き店舗については、昨年1年度で7件助成をしている。その前の年は1店舗、その前は2店舗ということで、岡谷で商売をやろうというやる気のある商業者が出てきていると考えている。</p>
<p>小林委員</p>	<p>19 ページであるが、「湖に映える美しいものづくりのまち」大変すばらしい言葉と思う。産業観光にかなり力を入れて、ものづくりのまちというものもあるが、諏訪湖を抱えたおかや、やまびこ公園を抱えたおかや産業観光としての価値があると思う。湊地区に道の駅というのをもたいへんいい話と思う。諏訪湖周辺のこと考えると、観光化していくことが重要。しっかりと進めて欲しい。それにはスワレイクパークとして、一周全部公園にすればよいと思う。広域で、下諏訪、諏訪市と連携して大きな公園とすれば良いと思う。</p>
<p>小口企画政策部長</p>	<p>ブランドブックの中で諏訪湖と岡谷の結びつきについては、今までは岡谷イコール諏訪湖、諏訪湖イコール岡谷という結びつきは無かった。今年からレンタサイクル、ランニングステーションという取り組みを行ったが、レンタサイクルについては評判がよく、2ヶ月で70件の利用をいただいております。徐々に拡大していければと思っております。諏訪湖イコール岡谷と思っただけの取り組みは必要である。そのなかで、湖周の公園整備については、岡谷の区域については湖畔公園という位置づけがあり、湊側は帯状の形で県の水辺整備と併せて一定の整備が完了している。岡谷側は諏訪湖ハイツの先の部分が、法的には河川の区域内ということでその処理が課題として残っている。公園の網掛けはしてあるので、すぐには無理かもしれないが将来的には公園としていきたいと考えている。道の駅の話は、湊の廃川敷地は市が所有しており、第3次総合計画の検討の中で、美術考古館や製糸関連施設の話があり、道の駅の検討もされたが、合併論議のなかで合併が不調となり財政的にも対応が難しくなった。ブランドブックの方で、諏訪湖イコール岡谷という取り組みもしているので、その中で検討できればと考えている。ただ、廃川敷地の活用については、用途地域上の問題もあり、道の駅というのは難しいのではと考えている。</p>
<p>太田副会長</p>	<p>時間も来ておりますので先へ進めます。他にもあれば意見連絡票等記入の上提出お願いしたい。では次の政策の3勤労者対策の推進、3-1勤労者福祉の充実と3-2雇用対策の充実についてご意見等あればお願いしたい。</p>
<p>C委員</p>	<p>私は労務対策協議会ということで、雇用対策のための団体であるが、一番問題となっているのは、先ほどH委員がおっしゃっていたが、Uターン学生の確保についてである。採用で、岡谷市の学生がどのくらい採用になったかということ、大町や佐久の学生が多く市内で採用されている。自分の会社でも同様で、これらの人たちは岡谷の住民になっている場合が多く、岡谷出身者だけではなく、幅広く採用していくことが大切ではないか。最近では山梨大学と市の協力によって、数社が説明会をできることになった。これからも、市のご協力、支援をお願いしたい。</p>

赤沼経済部長	市に雇用の担当もあるので、引き続きよろしくお願ひしたい。
H委員	私の会社では、以前Uターン組とI、Jターン組を半々でとるということがあった。I、Jターン希望者への説明会を前はリクルートが東京でやっていたが、今はインターネットが中心になってきている。I、Jターン組を採用できるような仕組みを作って欲しい。企業にとっても地元だけではないほうが良い。
太田副会長	ではその他にあれば後ほど意見質問票等でお願ひできればと思います。
白上主幹	事前にいただいているご質問など回答する時間もなく申し訳ありませんでした。これについては回答を入れてお配りしてまいりたいと思います。よろしくお願ひします。

②基本目標2

小口副会長	それでは早速ですが、ただいまから部会を開催させていただきます。時間が限られておりますので、積極的なご発言をお願いいたします。本部会では基本目標2「ともに支えあい、健やかに暮らせるまち」について審議を行います。はじめに、さきほど担当部長さんからご説明をいただきましたが、基本目標2について全体を通して何か質問はございますか。
K委員	新病院は人口何人位を想定しているのか。
岩垂病院事務部長	辰野、伊那、塩尻まで含め7万人から8万人を想定している。患者数は、人口は減少していくが、高齢者が今後増えるため、患者数としては暫く増えると見込んでいる。現在の岡谷病院は塩嶺病院も合わせて317床、新病院は295床の予定。
G委員	3大生活習慣病の中に糖尿病の記載が見当たらない。2人に1人が糖尿病とか聞くと、記載しないか。
岩垂病院事務部長	糖尿病については、47ページの(2)①医療機能の充実の中で記載しているが、糖尿病センターの機能を活かした生活習慣病への積極的な取り組みを進めていく。
G委員	岡谷市内の糖尿病患者の割合を教えてください。
岩垂病院事務部長	確認する。
J委員	目標値の設定について、とても達成が無理ではないかというものがあるが。
笠原市民環境部長	一般的な事項ですので、企画課にて回答をさせていただく。
岡本主幹	前の計画には、目標値というものは無かったが、第4次総合計画前期基本計画よりわかりやすいように設定をした。施策評価と連動させ、計画期間の進捗状況を把握するため、目標値を指標として示している。
小口副会長	ありがとうございました。それでは、「政策」ごとに審議を進めてまいります。34ページですが、政策4「保健・医療の充実」の4-1「健康づくりの推進」から4-4「医療体制の充実」までについてご意見をお願いいたします。
F委員	4-2予防対策の推進について、年間で胃ガン検診・大腸ガン検診・肺ガン検診・乳ガン検診・子宮ガン検診とガン関係だけで5種類検診があり、多くの方が検診を受けられているが、現在何らかの病名で、定期的に病院等で治療を受けている人、又は定期健診を受けている方は、通院の都度担当の先生と話し合う中で自分の体調を知るため、一部では安心して予防検診受けない方が結構多くいる。その点、今後の啓発はどう取り組むか。
宮澤健康福祉部長	より多くの方に受けていただけるよう、周知に取り組んでいきたい。かかりつけ医と相談の上、健診を受けるようお願いしていきたい。

K 委員	産後の健診はそれほど費用がかからないが、病院での検診は何時間もかかり、回数も多い。その間、上の子を見るのは大変。病院の外に託児があるが、有料で一人当たり 1 時間 800 円ほどかかり、2 人の子どもを 2～3 時間預けると結構な額になってしまうので、なんとか無料化できないか。また、医療費についても窓口で支払いをし、手数料を差し引いて助成される。手数料の無料化と窓口で支払いのない形を取ってほしい。
岩垂病院事務部長	託児についてご意見として伺います。
宮澤健康福祉部長	医療費の窓口支払いおよび手数料についてご意見として伺います。
A 委員	4 - 3 母子保健の充実について、市内で産むことができず、市外で出産している人がいると聞くが、市内で出産できる支援を。
宮澤健康推進課長	里帰り出産により、実家へ戻られている人もいます。定期健診は、14 回分の助成を受けることができ、1～5 回目まで国から市への補助金として交付され、6～14 回目の分は市町村が助成するようにとのことになっている。
F 委員	私が民生児童委員をしている時、多くの方が不安を持っている事を知った。傾向として祖父母と同居している若い母は、相談できる方・育児を手伝ってくれる等、精神的に落ち着いて生活や育児をしている。若い夫婦のみの方は、育児が 100% 自分の行動で決まりますので、日常生活は勿論、病気や発熱等したときにパニックになる。又、近くに相談できる方があまりいないので、夜間や独りだけの時に特にパニックになってしまう。相談できる人を早く見つけることが大切。又、育児等で夫婦間で方向や意見が違ったり、気持ちが高ぶって子供を虐待したりする傾向も多く出ている。早めに公的な支援や援助が大切。母子家庭の場合は、特に子供の育成に注意し、長時間保育や保健士の派遣を重点に行ってほしい。
宮澤健康推進課長	母子訪問について生まれてから 3 カ月以内に 1 回保健士が訪問をしている。母子相談については、母子手帳の交付時に窓口をご案内している。
F 委員	虐待についてはどうか。
宮澤健康推進課長	子ども課、社会福祉課にて相談を受けている。児童総合相談センターなどとも連携をしている。
小口副会長	続きまして、50 ページですが、政策 5 「子育て支援」の 5 - 1 「子育て支援の充実」について、何かご意見はありますか。
J 委員	5 - 1 子育て支援の充実について、暮らす地域で保育ができることが大切。子育て支援センターが 4 箇所あり、目標が 7,500 人とのこと。前期計画では 1 万人だったが、充足したということか。数値を減にした理由は。
宮澤健康福祉部長	保育園整備計画も考慮にいれての数値となっているが、目標の設定については確認する。

○委員	(3)②の幼児教育の推進の中で、幼稚園は預かる時間が短いと聞くが、なぜ幼稚園だけを支援をするのか。
宮澤健康福祉部長	保育園と幼稚園の違いから幼稚園での幼児教育について記載している。ニーズの多様化に応じていきたい趣旨で掲載をしている。幼稚園だけを支援するわけではない。
○委員	幼稚園は市内にいくつあるか。
宮澤健康福祉部長	4園。
A委員	児童の幼稚園の就園を奨励するとあるが、奨励という表現はいかがなものか。
宮澤健康福祉部長	表現については検討したい。
小口副会長	続きまして、54 ページですが、政策6「福祉の充実」の6 - 1「地域福祉の推進」から6 - 4「社会保障の円滑な運営」までで、何かご意見はありますか。
F委員	6 - 1 地域福祉の推進の地域サポートセンターについて、24 年現在で 21 区中 5 地区が設置準備中か今後設置となっているが、前期の内に完了するか。設置済みの地区でも、内容的に事業の内容が異なっているが、最終の形まで、市の方で指導や設立後のフォロー、状況把握を継続していくのかお聞きしたい。
宮澤健康福祉部長	それぞれの地域で取り組んでいただいている。地区によって事情が違う面はあり、今年度中にすべての地区で立ち上げることは難しいが、今後も立ち上げに向け取り組んでいきたい。
G委員	東堀では、子育て支援センターはあるが、地域サポートセンターは聞いたことがない。
宮澤健康福祉部長	各地域の状況は確認させていただく。
F委員	地域で取り組みの内容が違う。最初に立ち上がった西堀は活動が盛んだが、各地域での取り組みの情報を提供していただくと地区での活動が活発になると思う。
宮澤健康福祉部長	検討する。
○委員	地域サポートセンターがどういうものがよくわからない。具体的に分かりやすくした方がいい。
宮澤健康福祉部長	幼児から高齢者まで人と人とのつながりを作るためのもの。市としても説明をしながら実施していきたいが、地区の実情によっても違うものなので、明確にこれということはいえない。参考にさせていただく。

G 委員	以前、東堀区の保健委員をやっていましたが、高齢者向けの事業が多かったように思う。
I 委員	西堀区ではすべての団体がサポートセンターに所属していて、子供向けの行事などでは育成会、PTA、婦人会などの団体が実施、高齢者向けは壮年会、一般向けは区など明確な区分けができています。
O 委員	新病院の期待は大きい。器だけではダメ。中身が大事。思いやりなどの接遇に力を入れてほしい。
岩垂病院事務部長	平成 22 年に管理者が就任してから、思いやりの医療を実践してきている。今後も取り組みを進めたい。
F 委員	6 - 2 の障害者福祉の推進について、身体障害者・知的障害者・精神障害者が主な障害であるが、最近、発達障害者年少者を中心に多くなってきている。特に重症の方から軽度の方まで幅が広くあるが、従来の障害者の範囲と違い対処内容が法律的にも少なく、今後の大きな課題と思うが、どの様に対処していくのか、又、学校・保育園・社会・行政の取り組みはどうなっているかお聞きしたい。
宮澤健康福祉部長	現在は、相談できる部署が各課にまたがっており、連携を図っている。市として、発達障害への支援策を検討したい。
小口副会長	基本目標 2 については以上であります。全体を通して何かご意見等ありますか。
岡本主幹	基本目標 1 の部会へ出られている L 委員より質問票が提出されているので、読み上げる。 【L 委員】 「病院事業において、予防医療、特に健康診断等は多くの市民が市外の病院で健診を受けていると思われる。(混雑状況や、内視鏡負担などの要因があると思うが) 岡谷市民はもとより、市外からも健診を受けられやすい体制は整えられないか。→再検査など、岡谷病院での再審も可能になると思う。」
岩垂病院事務部長	先ほどもお答えしたが、新病院については検診センターに力を入れ、受診できるよう取り組んでまいりたい。 【L 委員】 「子育て支援について、少子化問題にも関係することであるが、3 人目の子供が欲しい夫婦が多くいるが、様々な要因で 3 人目以降の子供をあきらめている夫婦が多くいるとの統計がある。3 人目以上の子供に対しての支援をもっと大胆なものにすることで出生数を増やしたり、他市町村からの転入を見込んだりすることができるのではないかと思うが、その様な施策の検討はあるのか。無ければ検討してみてもどうか。」
宮澤健康福祉部長	今現在市でも子育て支援ということで対応しているが、なお一層の支援ができるか検討してまいりたい。

	<p>【L委員】 「少子化問題について、子供を産み育てる以前の結婚について、現在未婚男女が多数市内にいると思う。他市町村では行政主導で婚活事業を行っている所もあるが、岡谷市はどうか。基本目標の政策、施策にこの問題が取り上げられていないのはなぜか。」</p>
<p>宮澤健康福祉部長</p>	<p>婚活については、社会福祉協議会、広域連合により取り組んでいる。</p>
<p>I委員</p>	<p>県が主導で婚活に取り組むということで、婚活に向けたおせっかいおばさんの養成の研修に参加した。近所だと顔が見えてしまうということもあるので、広域的に取り組んでいけばいいと思う。</p>
<p>宮澤健康福祉部長</p>	<p>そういうこともあって広域的に取り組んでいるところ。</p>

(3) 全体審議

①各部会からの審議報告

横内会長	各部会の審議、大変お疲れ様でございました。それぞれの部会審議の内容について事務局より簡潔にご報告をお願いします。
白上主幹	<p>基本目標1の方、別室で審議をいただきました。ご意見としましては、政策1の基幹産業の振興のところ、事業所数が年々減ってきているということで、こういったことに対応していかなければいけないということで、企業流出に対する対策が必要ではないかというようなこととか、岡谷のメリット、強みとして産業の集積・技術、こういったものが大変な強みとなっている。こういったものをきちんと確保していく、支援していくということが大切ではないか、というご意見を頂いた。</p> <p>そういった技術の集積が大切だということで、工場アパートみたいなものを市で運営するようなことを考えていくことはできないか、というご意見をいただいております。</p> <p>それから、下請けの企業、切削などの部品加工の下請けをされる企業が多いという中で、これから健康医療とか環境エネルギーといった産業の製品をつくるメッカ、中心となるようなまちにしていくことが大切ではないか、というご意見もいただいた。</p> <p>また企業誘致に関しましては外からの企業だけでなく地元の企業にも支援をもう少しお願いしたい、とのご意見を頂いた。</p> <p>岡谷に来る価値、岡谷に来るメリット、そういったものの位置付けを強く作っていかなければいけないということで、市が技術とか職種ごとにコーディネートするなどして、さらにそこに外の企業が加わることができるようなコーディネートが必要であるというご意見を頂いた。</p> <p>他にもこの政策1についてご意見いただいておりますけれども、これにつきましてはきちんとまとめまして、詳しくは後程お知らせしたいと思っております。</p> <p>次に政策2の方でございまして、産業の振興でございまして、観光について岡谷ブランドというものを推進していくことは大変大事なことであるというご意見があり、これに関連して諏訪湖を活かした観光というものが大変大事である。広域で連携して取り組んでいくようなことが考えられないか、というようなご意見も頂いております。</p> <p>また商業につきましては、空き店舗というものをどのように対応していくかというようなことを、考えていくべきではないか、とのご意見を頂いております。これにつきましても、ご意見について詳しくまとめてお知らせをしたいと思っております。</p> <p>最後に政策3の勤労者対策の推進でございまして、ターゲットについては、労務対策協議会の代表の方からも、Uターンの学生をどう確保していくかということが、いま大変なことだとゆうことで、ターゲットを広く見て、広いターゲットに対してアプローチしていかなければならないのではないか。大学との協力体制も整っている。市の方も今以上に企業と協力・連携して対応していけたらよいのではなか、とのご意見を頂いた。</p> <p>また、Iターン・Jターン、外から岡谷に働きに来る方を増やしていく仕組みづくりが大切ではないか、とのご意見を頂いた。</p> <p>全てのご意見を披露できなくて申し訳ないんですが、きちんとまとめて委員のみなさんには早急にお知らせをしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。以上です。</p>

<p>横内会長</p>	<p>ありがとうございました。次をお願いします。</p>
<p>岡本主幹</p>	<p>よろしく申し上げます。企画課の岡本と申します。基本目標2の説明をさせて頂きたいとおもいます。まず全体ということでございますが、現在建設中の岡谷病院についてはどれくらいの人口を想定しているのか、ということで質問がございまして、こちらについては、塩尻、辰野を含めて7万人から8万人の想定をしているということで、現在塩嶺病院とあわせて317床ありますが新病院では295床ということで対応して参りたいということで、お答えさせていただいております。</p> <p>それと、今回の計画全てにおいてなんですけど目標指標というものをあげてあるが、この目標指標というのはどういうことで掲げているのか、というご質問がありまして、こちらにつきましては、今回、後期の策定になっておりますけれども、前期の時から目標指標を掲げるということで取り組んでいると、これは市民の方に計画の進捗状況を分かりやすくするために、それぞれの施策に目標指標を掲げまして、進行管理をしていく為に掲げているということで、ご説明をさせていただきました。</p> <p>それでは、それぞれ施策ごとにご意見をいただきましたので、まずはじめに4-2の予防対策の推進、38ページからのところになります。こちらの部分にがん検診の部分が主に記載されておりますが、がん検診以外の病気を持っている方が検診を受けられるような、そんなような啓発をする必要があるんじゃないかということでご意見を頂きまして、こちらにつきましては、引き続き啓発もして参りますが、かかりつけ医との協力をする中で検診を受けて欲しいというようなことでPRをしてまいりたいということで、ご回答させていただいております。</p> <p>続きまして4-3になります。ページでいけば42ページからになりますが、母子保健の充実というところがございます。こちらにつきましては、出産する方が他の病院に行くという話を聞くけれども、出産に対する支援はどのようになっているかと言うご質問がございました。こちらにつきましては、市としまして、出産までの健診、定期健診に対しまして助成をしているということで、出産の方に支援を行っているという部分でございます。</p> <p>また、出産する方の状況、里帰りという部分でございますので、なるべく市のほうで出産するような方については支援して参りたいということで、ご回答させていただいております。</p> <p>また、それに関連してですが、現在岡谷市の方で子育て支援というようなことでやっておるわけですが、出産のときに健診の支援をしていただいていることは承知しているが、病院に何回も健診にいくと、今で言っても14回は行きますが、その間にお二人目、最初のご長男の方とか、まだ小さいお方がいらっしゃる場合は、なかなかそれを見ていただくという状況が無いので、そういうところの支援を是非お願いしたいと言うご意見がありました。</p> <p>それともう1つ、医療費の無料化の部分でございますが、今、医療費無料化ということで市の方取り組んでおるわけでございますが、こちらの方は、実質500円という部分を差し引きまして、後日、口座の方に振り込むというような形をしておるわけでございますけれども、できれば窓口でお金をとらないというような形で、手数料も取らないというような形で実施できないか、とのご意見がございました。</p> <p>あと、その中で、今現在、核家族化が進んでいるということで、子育て</p>

をしている方、若い世代についてはなかなか先輩の意見を聞けないと言う状況で、普段の生活の中でパニックになる恐れがあるということで、できれば市の方で保健師の訪問、または相談所と、そんなようなことの事業展開をしていただけないかとのご意見がございました。

この中で、市のほうから現在、保健師の訪問または出産の時に相談所のPRをしておりますが、引き続きその辺の部分について事業展開を研究して参りたいというご回答をさせていただいております。

続いて5 - 1の部分になります。50ページになりますが、子育て支援の充実の部分になります。こちらのおめくりいただいて53ページになりますが、目標指標がここに掲げてございます。この子育て支援センターの延べ利用数という部分が、前期の計画に比べまして、前期が目標が1万人だったわけですが、後期が7,500になっていると、この部分の考え方ということで、市のほうは個々の部分については充実していると考えて減らしてあるのか、また、この部分の展開をどう考えているかということで、この辺の考えをお聞きしたいということで、お話しをさせていただきましたが、こちらの部分については、現状という部分でもう一度目標指標の数値を確認させて頂きたいということで、ご回答をさせていただいております。

それと、52ページになりますが、3の子どもの育成支援のところの、②に幼児教育の推進というところがあります。市の方で保育園という部分で充実を図ると謳っておきながら、この幼稚園という部分、幼稚園は特に預かる時間が少ないのに幼稚園の部分を進捗するというのはどうなのか、というご意見がございまして、保育園は引き続き推進していくわけですが、そうは言っても預ける方の考えで、幼稚園という選択肢もありますので、その辺の部分はこちらの方で記述させていただいていると、回答させていただいております。

ただ、ここにあります「奨励」という言葉、この部分についてはちょっとどうなのかな、ということで、一考いただきたいということでご意見をいただいております。

続いて6 - 1、地域福祉の推進の部分になります。54ページになります。

こちらの中に地域サポートセンターの充実という記述がございまして、こちらの中で地域サポートセンターが市内16区で実施しておりますが、残り5区の実施状況はどうかと言うようなご質問がございまして、こちらにつきましては各区の状況等もございますので、引き続き設置に向けて市として支援をして参りたいと、ご回答させていただいております。

また、それぞれ区によって運営方法、やり方が違うがその部分について市はどう考えているか、ということでご質問がございまして、こちらにつきましては、地区の実情等もございまして、地区の実情にあったような形で実施をしていただければと考えている旨、ご回答させていただきました。

また、今現在設置している地区は、地域サポートセンターの運営にあたってちょっと不安、これで本当にいいのか、というようなこともございまして、できれば他地区のサポートセンターの取り組みの状況を情報提供していただきたいと、そうすることによって地域サポートセンターの活動ももっと活発になるのではないかと、ご意見をいただきました。

続きまして、お手元に意見・質問票ということで、基本目標2に対しまして連絡票がでております。こちらの中で、病院事業においてということで、市外からの検診も受けられる様な体制を整えられないか、とのご質問がでてございます。こちらにつきましても、新病院につきましては、検診

	<p>センターに力を入れていきますので、受診できるよう取り組んで参りたいということで、ご回答させていただきます。</p> <p>そのほかに、子育て支援についてということでご質問がございました。3人以上の子どもを産みたいと思う方もいますが、もっと支援を行うことにより、3人目、4人目ということで、子供を授かりたいと思う方が増えたり、また他市町村からの転入も増えるのではないかと、ということで、そういう取り組みをしたらどうかということでございます。</p> <p>こちらにつきましても、今現在市でも子育て支援ということで対応しておりますが、なお一層の支援ができるか検討してまいりたいということで、ご回答させていただいている。</p> <p>少子化問題についてということで、今現在他の市町村では行政主導で婚活事業を行っているが岡谷市はどうか、というお話がございました。こちらの部分で、基本目標2の委員さんの中から、今年県の方で「おせっかいおばさん」という取り組みをされておるようです。その中で、講習を受けられたようでございますが、岡谷市もだんだん人が少なくなってきておりますので、岡谷市だけというのは難しいので、できれば広域の取り組みにしたらどうか、ということでご提案を受けております。</p> <p>こちらの婚活については、市の方で社協または広域で取り組んでいるので、引き続きそのような形で研究をして参りたいということで、ご回答させていただきます。</p> <p>基本目標2の方で出された意見、市の回答は以上でございます。</p>
--	---

②全体審議

<p>横内会長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、全体審議に入ります。只今のご報告を含みまして、全体で何かご意見・質問がありましたらお願いいたします。あの今日が初めてでして、多分、1の方も時間が足りなかったのではないかなと思うんですが、私も含めてですが、質問する側も少しまとめて、たくさんの質問をするためには、まとめておいて質問なり意見を言った方がいいのかなと自分の反省も含めてですけれども、ありましたので、次回からたくさんの質問を短時間にやるためにもお互いに簡潔にやって、まとめてきた方が良くないかなと思いましたが、みなさんまた参考にしていきたいと思います。何かご質問ありませんか。ご意見でもいいですけど。よろしいですか。</p>
<p>D委員</p>	<p>子育てなのか、少子化対策なのか分からないが、ご批判もあるかもしれませんが、3世代同居の推進ということですね、どこかでそういうお宅に対して補助をだすとか、そんなことを岡谷市で今後のことを見据えて着手をしていただければと思います。</p> <p>というのは、私の近所に同世代の家庭が4軒あるが、全部子どもが3人なんです。これだけ少子化といわれている中で、うちの地区は同じ世代の内4軒あって、4軒とも子どもが3人なんです。実は、おじいちゃん・おばあちゃんがそばにいる、それで一緒に子育てをしてくれているという要素が非常に強くて、お隣さんは奥さんが看護師をされていて非常に激務なんですけど、3人育てていらっしゃる。</p> <p>いつもおばあちゃんとかおじいちゃんとか来て、家でいろんなことをやってくれて、学校から帰ってきたお子さんの面倒を見ているという状態があるものですから、これが価値観というところにも抵触するので非常に難</p>

<p>横内会長</p>	<p>しいことなのかもしれませんが、これからの支援をしていくにあたって、よその行政主導でお金を出しているいろんな施設を造って支援をしていくというの、もちろん大事なことだと思うが、最終的にはそれぞれの家庭が自分たちでできることを、自分たちでしていくという方向性をどこかで出していけないと、他のこともそうだと思いますけど、その中のひとつとして、そういう3世代同居というのが少しでも増えていくと、おじいちゃん・おばあちゃんの生き甲斐の創造にもつながるでしょうし、働く両親にとってはどこか施設に預けるよりは、より安心して子どもを預けることができるとか、いろんなメリットが出てくると思いますので、どのように打ち出したらいいのか、非常に難しいところだと思いますが、ぜひ3世代同居というのを岡谷市では推進をします、推奨をしますということは何らかの形で将来を見据えて打ち出していければなと望みます。</p>
<p>宮澤健康福祉部長</p>	<p>というわけですので、またぜひ市の方でも考えて頂きたいと思います。</p>
<p>横内会長</p>	<p>ご意見として頂戴いたします。</p>
<p>横内会長</p>	<p>お願いいたします。他にありませんか？無いようですので、慎重な審議をありがとうございました。以上で本日の審議を終了といたします。</p>

4 その他

<p>横内会長</p>	<p>最後に事務局より何かありましたらお願いいたします。</p>
<p>白上主幹</p>	<p>事務連絡になりますがよろしくお願いいたします。次回の第4回基本構想審議会の日程でございますが、10月11日金曜日になります。本日は1時から開催をお願いしておりましたが、次回は午後1時30分からの開催となりますので、お間違いのないようお願いをしたいと思います。会場は9階の大会議室となります。9階の方に起こし頂きたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>次回につきましては、基本目標3と基本目標4についての審議となりますので、これから確認のために委員さんのお名前を読み上げますので、それぞれの分担の部会の方でお願いいたします。基本目標3の方が、A委員さん、E委員さん、F委員さん、G委員さん、L委員さん、M委員さん、O委員さん、ということで基本目標3の部会を尾お願ひします。基本目標4ですが、B委員さん、C委員さん、D委員さん、H委員さん、I委員さん、J委員さん、K委員さん、N委員さん、というような分けになります。ご意見等ありましたら質問票をお寄せ頂きたいと思います。</p> <p>また本日の会議の内容については、きちんとまとめまして、できるだけ早いうちにお手元にお届けできるようにしたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。私から以上となります。</p>
<p>横内会長</p>	<p>よろしいですか。</p>
<p>白上主幹</p>	<p>もう1つお願ひします。今日部会審議を行ってみて、部会審議の時間がかなり足りないという気がしています。委員のみなさんのご了解をいただければ、15分なり若干終わりの時間を延ばさせていただいて、部会の時間をもう少し取らせさせていただければと思っておりますが、いかがでしょうか。何かご異論ございますでしょうか。</p>

横内会長	こちらとしては、もう少し時間が欲しいようですけど。
太田副会長	今日非常に活発にご意見を出していただいたんで、もう少しいただければと思います。
横内会長	委員のみなさんいかがでしょうか？例えば 15 分とかで。時間を区切った方がいいかなと思うんですけど。15 分くらい延長するということが宜しいですか。 <異議なし>
横内会長	では、みなさん良いようですので。終わりの時間が少し遅くなるということになりますので、よろしくお願いします。
白上主幹	大変申し訳ございませんが、よろしくお願いいたします。

5 閉会

横内会長	それでは、本日の会議を全て終了いたしました。閉会の言葉を太田副会長さんお願いいたします。
太田副会長	それではこれで第3回基本構想審議会を終了といたします。本日はありがとうございました。お疲れ様でした。